

なごやの学童保育

市連協ニュース No.8

2016年度・12月6日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL(052)-872-1972
 FAX(052)-308-3324
 E-Mail:info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

全世帯署名に取り組もう

土地確保支援で市へ要望書

名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)は11月、河村たかし名古屋市長への「要望書」の署名用紙を加盟学童保育所に配布しました。2013年12月に名古屋市議会で採択された「請願署名」と同文面で、「(学童保育所の)移転先を確保するために、行政として市有地の紹介等最大限に努力してください」と市に直接、土地確保支援の拡充を求めます。

【対象】 自筆のみ。基本は現役保護者と指導員(パート・アルバイト含む)。保護者OB・OGや運営委員長も可。

【提出期限】 2017年2月7日(火)の区代表者会議。

※間に合うよう、各区の学童保育連絡協議会や市連協に各学童保育所から提出を。

保護者会などで、市内での土地確保の難しさ、市の土地確保支援の必要性を保護者と指導員の全員で確認し、全世帯で署名に取り組ましましょう。

つなごう、成果を来年に

全国研、最後の実行委

全国学童保育研究集会inあいち(10月29日・30日開催)の実行委員会は11月27日(日)、名古屋市博物館ホールで最後の会議を開きました。柴田謙治実行委員長(金城学院大学教授)が「想定外にもうまく対処し良い会になった」とあいさつ。保永雅行事務局長(名古屋市連協副会長)は「想定以上の協力参加で愛知のパワーを感じた」と述べました。

実行委員からは「分科会の予約や満席の教室の明示が必要」「情報共有が不十分」などの指摘や反省が挙がりました。来年度以降の全国研やあいち学童保育研究集会に向け、以下3点の提案・採択もありました。

- ①区や市で参加者の声をまとめよう。
- ②連協や父母会で参加者の感想を聞く機会を作ろう。
- ③全国研 in 兵庫やあいち学童保育研究集会への参加費の予算化、参加者へのカンパを父母会で検討しよう。

ほいく誌活用の交流も

普及拡大会議を開催

12月4日(日)金山の労働会館2F会議室で、月刊誌「日本の学童ほいく」(ほいく誌)について、2016年度第2回の「ほいく誌普及拡大会議」が開かれ、16地域から21名が参加しました。前半は各地域が活動を報告。後半はグループに分かれ意見交流をしました。

「日本の学童ほいく」の活用事例を紹介します。

・読み合わせを何度かやっています。順番に回すやり方だと、だんだん自分の順番が回ってこないと聞いていないということができてしまいました。そこで、次の人をランダムに指名して回していくようにしたところ、みんなが集中するようになりました。ただ、このやり方が好評かどうかはわかりませんが…まずは、「ほいく誌を開いて読んでもらえる機会」を作れたらいいなと思います。

・指導員です。ほいく誌が届いたらすぐに読み込みます。あまりみんなが読まないようなところも目を通します。そして、お迎えの時など保護者の方と話しをする時にほいく誌のことを話題にできるように意識しています。ほいく誌、なかなか使えますよ。

・「保育室の出入口にぶら下げておく」「みんながいつでも手に取れるところに置いておく」…他の学童にはそういうスペースがあるんですね。うちの学童でも作れないか、ちょっと考えてみます。

全世帯購読キャンペーンの反響もまずまずです。ほいく誌を知ってもらおう一つのきっかけとして、みんなですぐに取り組めたらいいなあと思います。

厚労省担当者による新制度学習会 主催：愛知県連協

2017年1月15日(日)13:30-16:30 イーブルなごや

市連協学習会「指導員の確保に向けて」

採用のプロ(保護者OB)が対処法を指南!

日時：2017年1月24日(火)19:30~21:30

場所：労働会館東館2Fホール(熱田区沢下町9-7)